

# 銀杏学

宮崎市立東大宮小学校

## 1 「銀杏学」とは

銀杏の葉は、「学問の府」を意味し、校章にある三葉はそれぞれ次のような意味をもつ。

- ① 児童、教師、保護者の三者の連携を意味する。
- ② 知育、徳育、体育（食育）の三領域の調和を意味する。

よって、「銀杏学」は、東大宮小学校のシンボルである校庭の銀杏の、真っ直ぐな幹（誠意を表す本物力）・四方に広がる枝（目標に向かい努力する継続力）幹や枝を支える大きな根っこ（礎を固める地力）のごとく、小さな事や社会の変動に惑わされることなく、将来を見据えて、賢く、素直に、そして元気に成長する子ども達のための学びです。

**礎をしっかりと固め、本質を見極めながら、本物を本気に根気強く取り組む学び**

## 2 「銀杏学」が目指すもの

### (1) 「銀杏学」の根幹

- 根（根を張り）・・・礎をしっかりと固める地力。
- 幹（幹を太らせ）・・・誠意を育てる本物力。
- 枝・葉（枝葉を伸ばす）・・・絶えず努力する継続力

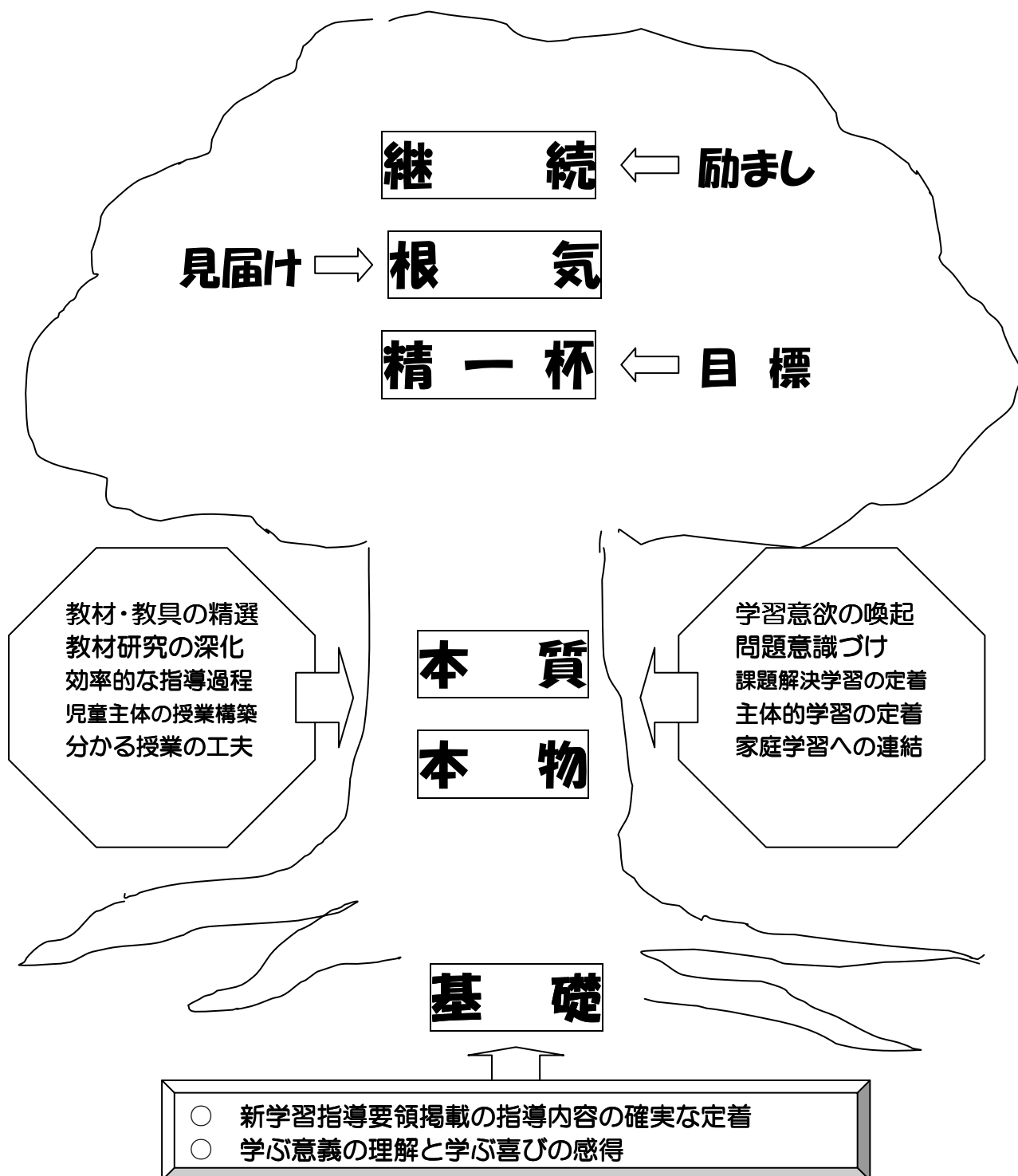
### (2) 「銀杏学」が目指す東大宮小学校の子ども像

**郷土を愛し、隣人を思いやり、礼節を身に付けた、心身ともにたくましく情のある子ども**

- 健康や安全に心がけ、命を大切にする子ども
- 思いやりの心を持ち、互いに認め合い仲良くできる子ども
- 自分の考えをしっかりと持ち、正しいと思ったことは進んで実践できる子ども
- 夢や希望を持ち、根気強く物事に取り組める子ども
- 地域の人・自然・文化に親しみ、郷土宮崎を愛する子ども

### 3 「銀杏学」を推進するにあたって

- 根（根を張り）・・・礎をしっかりと固める。
- 幹（幹を太らせ）・・・本質を見極め、本物を学ぶ。
- 葉（葉を伸ばす）・・・根気強く精一杯続け、目標をめざす。



(1) 学校の教育目標

**自ら学び、自ら思いやり、自らきたえる子ども**

(2) めざす児童像

- 生き生きと学ぶ子ども
- お互いを思いやる子ども
- たくましく元気な子ども

(3) めざす学校像

- 安全で楽しい学校
- 一人ひとりの個性を伸ばす学校
- 互いに助け合い、思いやりのある学校

(4) めざす教師像

- 思いやりがあり、協調性のある教師 [人間性]
- 子どもを愛し、教育に熱意を傾ける教師 [使命感]
- 子どもを理解し、個性を伸ばす教師 [指導力]

## **教育課程及び教育活動の指針**

- 1 本校教育目標達成のための学習活動及び学習内容の充実
- 2 「分かる授業」「基礎・基本の確実な定着」をめざすために、特別支援教育の視点に立った指導方法の工夫・改善
- 3 基本的な行動様式を身に付け、規範意識を育てる生徒指導の充実
- 4 健康及び忍耐力と体力を向上させるための体育指導と食育指導の充実
- 5 幼保小連携及び小中一貫教育の充実による学校種間の滑らかな接続
- 6 指導力向上を図るための効果的な現職教育の工夫・改善
- 7 学力差解消へ向けた個に応じた教育支援の充実
- 8 学校評価制度を生かした指導と評価の一体化